

「みずほダイレクト」の新たなセキュリティ強化策の実施について

株式会社みずほ銀行（頭取：杉山清次）は、個人のお客さま向けサービスである『みずほダイレクト[インターネットバンキング]』をより安心してご利用いただけるよう、新たに以下2つのセキュリティ強化策を導入いたします。

1. 「ワンタイムパスワード」による認証

(1) 「ワンタイムパスワード」とは

「ワンタイムパスワード」とは、取引ごとに異なる使い捨てのパスワードです。

ご希望のお客さまにパスワード表示専用端末（トークン）をお届けし、インターネットバンキング・モバイルバンキングにおける振込等の重要なお取引の際に、従来の第2暗証番号に代えて、トークンのボタンを押すことで表示される一度きりのパスワードをご入力いただきます。

パスワードは短時間（約30秒ごと）で更新され、一度使用されたパスワードはその時点で使用できなくなることから、万が一スパイウェア等により、入力したパスワードを第三者に盗まれたとしても、不正な取引をされるなどのリスクは極小化されます。

(2) サービス概要

① ご利用いただけるお客さま

みずほダイレクトのご契約があり、トークン（ワンタイムパスワード専用表示端末）の発行申込およびワンタイムパスワードの利用登録をされたお客さま。

② サービス開始日

3月下旬頃よりお申込受付の開始を予定しております。

③ お申込方法

上記サービス開始日以降、みずほダイレクト[インターネットバンキング]・[モバイルバンキング]よりお申し込みいただけます。なお、ご利用にあたっては、トークンがお手元に届いた後、ご利用登録が別途必要です。

④ 手数料

トークン発行（再発行を含む）、更新のお申し込みには、トークン発行手数料：2,100円（消費税等を含みます）が必要となります。ワンタイムパスワードの利用期限は、トークンの電池が切れ、ワンタイムパスワードが表示されなくなるまでです。通常のご利用で5年以内に故障・電池切れした場合は無償でトークンを交換いたします。

なお、月額サービス利用料は無料です。

2. EV SSL証明書の導入

EV SSL証明書とは、全世界標準の認証ガイドラインに基づいて発行されるサーバー証明書です。

EV SSL証明書導入済のウェブサイトブラウザソフト：Internet Explorer7で閲覧すると、アドレスバーの色が緑色に変化し、ウェブサイトの運営者が表示されるなど、正当なサイトかどうかを視覚的かつ容易に認識し易くなります。

当行では3月下旬以降、みずほダイレクト[インターネットバンキング]より、順次導入を図ってまいります。

※「リスクベース認証」導入等の追加対策につきまして

また、本年6月頃から順次、みずほダイレクト[インターネットバンキング]の更なるセキュリティ強化策として、ご利用の全てのお客さまに対して以下2つの対策を導入する予定です。

- ① お客さまに事前にご登録いただいた画像を、インターネットバンキングのログインパスワード入力画面に表示。(これにより、ログインの際にみずほダイレクトの正規のサイトであることをご確認いただけます。)
- ② お客さまが普段利用するインターネットプロバイダーのIPアドレス情報やパソコンの設定情報などといった「インターネットバンキングのご利用環境」を総合的に分析・リスク計量し、不正利用が懸念されるアクセスを検知した場合には合言葉による追加認証を行う「リスクベース認証」。(普段利用されている環境と異なる別のパソコンからのアクセスを防止します)
なお、「リスクベース認証」は本邦銀行では初の取り組みとなります。

みずほ銀行では、これまでもみずほダイレクトを安心してお使い頂けるよう種々の取り組みを行ってまいりましたが、預金者のみなさまの大切なご預金を安全にお預りするべく、今後も一層のセキュリティ向上に取り組んでまいります。

以 上

[みずほダイレクト[インターネットバンキング]セキュリティ向上に関する主な取り組み]

実施時期	具体的内容
2005年8月	「ログインパスワード」入力時のソフトウェアキーボード利用を開始。また、振込取引用「暗証番号」を取引の都度、当行が指定する方式へ変更。
2006年1月	ログイン時のパスワードについて、お客さまが忘れにくく、かつ、他人に推測されにくい設定とできるよう、桁数を32桁に拡大。
2007年2月	フィッシング詐欺等のインターネット上の金融犯罪や、注意点・対策を分かり易く解説した「セキュリティガイド インターネットバンキング編」をHP上に掲載。
2007年6月	RSAセキュリティ株式会社が提供する「RSA FraudAction（アールエスエー・フォロードアクション）」を導入し、フィッシングサイトを短時間で閉鎖できる体制を構築。
2007年9月	不正払い出しの被害を限定的にする、「総合口座貸越選択サービス」の取り扱いを開始。
2008年3月予定 (本件)	取引毎に異なる「使い捨て方式」のパスワードである「ワンタイムパスワード」の取り扱いを開始予定。
2008年3月予定 (本件)	フィッシングサイト対策として、正当なサイトかどうかを視覚的にかつ容易に認識し易くするEV SSL 証明書を導入予定。
2008年6月以降	正当なサイトかどうかをより明確に認識できるよう、お客さまご自身で登録いただく画像をログイン前に表示する機能を導入予定。
2008年6月以降	総合的な「インターネットバンキングのご利用環境」で認証する「リスクベース認証」を開始予定。